

# シュアラスター杯 神奈川新聞社杯争奪戦



2/6日 7月 8火 F2 川崎競輪 川崎スポーツ

## レース展望

2月6日からの川崎F2はシュアラスター杯、神奈川新聞社杯として行われるナイター開催。前期S級の実力者や、特別昇級、昇班を目指す若手も揃い見所は満載だ。

A級1、2班戦は南関ラインが強力。何と言ってもここでS級特進が懸かる地元のルーキー北井佑季(神奈川119期)が注目的。地元のベテラン三住博昭(神奈川61期)、植木和広(神奈川98期)、柴田功一郎(神奈川79期)らのマーク陣の援護を受けて大仕事を成功させるか。他にも競走得点上位の齋木翔多(静岡115期)やカマシ、まくりに威力

がある本多哲也(千葉97期)らの機動型が揃い南関ラインの戦力が一歩リードか。第二勢力としては関東勢。機動型は柿本大貴(東京113期)、荒木貴大(埼玉115期)に、2班からは中村隆生(栃木117期)の三本柱。追い込み勢も好調キープする平原啓多(埼玉97期)に、前S級のマーク巧者阿久津修(栃木88期)らが揃い戦力は充実。北日本勢は相澤政宏(宮城99期)や成田直喜(青森81期)らの決め脚は好調なものの、機動力不足は否めない。遠征勢は近況良い吉川起也(富山92期)や積極的な丹波孝佑(大阪98

期)の頑張り次第で優勝争いに加わる可能性はあり、そうなれば差脚シャープな玉手翔(兵庫91期)にもチャンスは巡ってきそう。

チャレンジ戦は徳田匠(京都119期)が特別昇班を狙う。前回大垣の開催が中止になったことで、ここでの挑戦となる。徳田の特別昇班に待たをかけるとするなら、同期の上遠野拓馬(宮城119期)だろう。両者が順当に勝ち上がれば決勝戦で火花を散らす。地元南関勢はやや戦力が劣るため、苦戦を強いられそう。

S級特進目指す北井佑季が躍動!

A級 主力選手



**北井佑季** 神奈川 119期

元Jリーガーの北井は30歳になり競輪選手に転身。同じく元プロサッカー選手であった河野淳吾(神奈川99期)を介して高木隆弘(神奈川64期)に師事。119期として昨年デビューを果たした。ほとんどのレースでバックを取っており、9連勝は果たせなかったが、昨年末のレインボーカップで勝ち、見事に特別昇班。ただ力づくで勝ち切る選手は過去にも多く居たが、北井は常にラインで決める走りを心がけており、内容の良い競走が目立つ。昇班後も先行基本の自力で現在6連勝中。前走の岸和田が開催中止になった事でS級特進を目指す舞台がこの地元戦に持ち越された。地元ファンの声援を背に特進を決める。

A級 主力選手



**齋木翔多** 静岡 115期

今年は伊東で地元優勝からスタートした齋木は状態に問題はなさそう、今期も南関ラインの先導役としてフル回転。恐らく前期にS級の競走得点は確保したと思われるが、S級でもある程度通用する脚力は既にありそう。持ち味は一気に仕掛けるカマシ逃げで、ダッシュ力に加えて長く踏める持久力も増してきている。後ろが離れて別線にハマられるケースも少なくはないが、高いレベルの走りをしていけるのは間違いない。追加が無ければ前回の四日市から半月以上は配分が空いているので、練習できる時間は十分にあったはず。S級での戦いを見据えて、更なるレベルアップを目指していきたいところだろう。

A級 主力選手



**中村隆生** 栃木 117期

デビュー以来、強力な地脚を武器に逃げまくってきた中村は昨年6月に特別昇班。ここまで半年優勝こそ無いが、各地でインパクトがある活躍を続けている。しかし昨年終盤に腰を痛めると、その影響が響いて年明けの松阪で大乱調。心配される状況だったが続く小田原で復調の兆しが見られた。圧巻は準決勝で、突っ張る渡邉雅也(静岡117期)を長い踏み合いの末に叩き切り、3着に逃げ残った。本人はレースを振り返り「さすがにキツかったけど、久しぶりにやっと決勝に乗れたしもう腰の不安はありません。後は乗り方とかフォームのズレとかをもう少し修正できれば」と話していた。更に良くなりそうな気配。

A級 注目選手

**上遠野拓馬** 宮城 119期



デビュー以来既に3Vを達成している上遠野は、勢いに乗れば特別昇班してもおかしくない実力がある。強力なダッシュ力に加えて持久力も増している。そんな上遠野の現状を師匠の荻原尚人(宮城89期)に聞くと、「デビューした頃と比べたらだいぶ良くなってきたけど、あいつに足りないのはメンタルの部分ですね。いざ行かないといけない場面で着や結果を意識し過ぎずに仕掛けられるかどうか。それが悪い方に出ている時は声を掛けたりしているけど、まだ伸びしろはあると思いますよ」と分析していた。今後の成長が楽しみなルーキーだ。

A級 注目選手

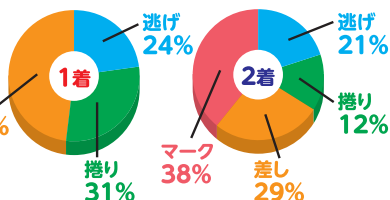
**徳田匠** 京都 119期



ロードレーサーの兄2人の影響から学生時代に自転車競技に打ち込んでいた徳田は昨年デビューした新鋭。持ち味の地脚を生かした積極先行で活躍。かなり高い勝率を維持しているが、なかなか特別昇班は決められていない。昨年小田原を訪れた時には「脚質を生かした走り方で力を付けていきたい」と話していたが、既に完成度の高い選手だ。いつ昇班しても十分に通用するはず。昨年末のレインボーカップで特別昇班を逃したが、ここまで6連勝中。前回大垣の中止で9連勝への挑戦はここに持ち越した。何度も失敗した特別昇班をここで決められるか。

### 川崎競輪場バンクガイド

1センターの客席が取り壊され2角からバックへかけて風が吹き込むようになった為、バック追い風の傾向が強くなった。直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースを外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中 毎日 OA!

YouTube

ニコニコ放送 NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル